

はつらつ座安っ子



【学校だより：令和4年2月 第7号】
豊見城市立座安小学校 校長：具志直哉

なかよく かしこく たくましく

～主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け、夢や目標を持って生きる子～

座安小学校の全職員は、子どもたち1人ひとりを認め、受け入れ、持っている「可能性を拓き伸ばす教育」の実践をめざし、全力でがんばります！

旧正月とともに、通常登校（授業）始まる！

2学期後半がやっとスタートできたなあ、という思いです。今年もコロナ禍で始まってしまった令和4年ですが、日々「トラ（虎）イ&エラー」の精神で創意工夫をしながら、いつでも、「笑顔（ガオー）」を忘れずに、教職員そして座安っ子たちとともに、より良い教育活動を目指していきたくと思います。保護者の皆様におかれましては、コロナ感染症への不安の中ではありますが、“対策を万全にして安全安心”でがんばりますので、今年も本校教育へのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



オンライン授業から見えてきた「学ぶ力」の大切さ！

9月のコロナ休業時に始まったオンライン授業です。

6月の休業時には3年生以上にタブレットを配付し、朝の会での健康観察を主に行いました。9月の休業期間中に初めて全児童にタブレットを配布し、1・2年生は朝の健康観察等をスタート、3年生以上でオンライン授業を開始したのです。

最初はまるでテレビ講座のような教師の説明と、児童は手元にあるドリルやプリントを解いていくといったことが主でしたが、今回（1月）のオンライン授業では、先生の質問や課題に対して、子ども達が自分の考えを電子付箋紙に書いて考えを交流させたり、描いた絵や作文を写真に撮ったり、録音して先生に提出したりして、タブレットの多くの機能を駆使した創意工夫が見られました。子ども達、そして先生方に、あっぱれ！です。



この3週間のオンライン授業は、子ども達の「学びを大切にする」ことを目的に実施し、ある程度の成果が見られたと思いますが、同時に課題もクローズアップされま

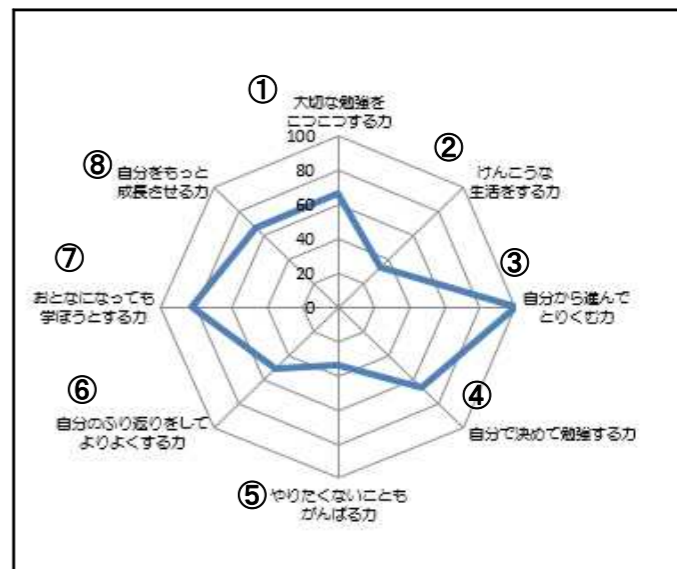
した。それは『子ども達一人一人の学ぶ力（学びに向かう態度、心構え等）によって理解度に大きな差が出てくる』というものです。これは学校での授業よりも顕著です。

座安小学校では今年度から、早稲田大学の田中教授が開発し、全国の小中学校で活用されている「家庭学習力アンケート」（10年の実績があります）を使って、子ども達の「学ぶ力」を育成していく取り組みを行っています。

まず右図にある8つの力を、子ども達はアンケートによって見える化します（自分にはどの力が強くて、どの力を良くする必要があるのか）。そして授業で友達や仲間と話し合い、励まし合いながら、自分の「学ぶ力」を高めていく取り組みです。

例えば右図の児童は、③（自分から進んで取り組む力）や⑦の力があり、良いですが、②や⑤などは改善する必要があります。

本校の教育目標に「主体的に他者と協働し、豊かな学び方を身に付け」があります。家庭学習力アンケートは、その目標にせまっていく取り組みの一つです。この取り組みは、家庭と連携することでさらに学ぶ力を高めてくれます。家庭学習力アンケートの内容を記載しておきます。



① 学習習慣（大切な学習を、こつこつ続ける力）

○宿題を全部出す ○時間を決めて毎日こつこつ ○学んだことを復習する

② 生活習慣（規則正しく健康な生活をする力）

○テレビ、ゲームの時間決め ○早寝早起き ○同じ時刻に朝ご飯と晩ご飯

③ 自律心（自分から進んでとりくむ力）

○前の日に明日の準備 ○整理整頓、片付け上手 ○自分から進んで家庭学習

④ 自己学習力（自分で決めて学習する力）

○計画を立てて学習 ○ページや時間など目標を決めて学習 ○友達と励まし合う

⑤ 自己コントロール力（やりたくないこともがんばる力）

○にがてな教科も学習 ○静かに集中して学習 ○難しい問題にもあきらめない

⑥ 自己マネジメント力（自分のふり返りをしてよりよくする力）

○ノートなどに学習記録 ○自分の学習をふり返る ○よくなるように改善する

⑦ 生涯学習力（おとなになっても学ぼうとする力）

○ニュースや新聞記事で社会の動きを知る ○辞書や事典、ネットで調べる
○いろいろな種類の本を読む

⑧ 自己成長力（自分をもっと成長させようとする力）

○自分の家庭学習力がわかっている ○宿題のほかに自分から進んで学習
○将来の夢をもって学習

これからの時代を生きていくために必要な力は「非認知的能力」と言われています。学力やIQといった数値化できるものではなく、協調性、コミュニケーション力など数値では測りにくい能力全般を意味します。忍耐力や粘り強さはその筆頭とも！

もちろん学力は必要です。けれど難しい事はネットですぐ検索できる時代。自分の学びを活用や問題解決等へとつなぐ非認知能力を高めていくことが大事だと思います。